

## 歯 科 健 康 診 査

表1 年度別受診者数

区 分	受 診 者			受診団体
	総 数	男	女	
28年度	9 726 <sup>*</sup> )	7 252	2 474	18
27年度	11 189	8 355	2 834	18
26年度	10 437	7 901	2 536	17

\*) 独自方式で実施の1629名含む

表2 歯周病検査（CPI）結果—歯周組織の状態について

区 分	受診者	0：健全		1：歯肉炎あり		2：歯肉炎+歯石あり		3：歯周炎あり		4：進行した歯周炎あり		記入無し		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	6 359	1 828	28.7	1 322	20.8	3 049	47.9	154	2.4	5	0.1	1	0.0
	女	1 738	742	42.7	380	21.9	597	34.3	17	1.0	2	0.1	0	-
	計	8 097	2 570	31.7	1 702	21.0	3 646	45.0	171	2.1	7	0.1	1	0.0
～29歳	男	2 488	687	27.6	526	21.1	1 220	49.0	54	2.2	1	0.0	0	-
	女	895	359	40.1	213	23.8	317	35.4	5	0.6	1	0.1	0	-
	計	3 383	1 046	30.9	739	21.8	1 537	45.4	59	1.7	2	0.1	0	-
30～39歳	男	3 292	1 000	30.4	659	20.0	1 553	47.2	78	2.4	2	0.1	0	-
	女	698	316	45.3	140	20.1	233	33.4	9	1.3	0	-	0	-
	計	3 990	1 316	33.0	799	20.0	1 786	44.8	87	2.2	2	0.1	0	-
40～49歳	男	333	93	27.9	72	21.6	161	48.3	7	2.1	0	-	0	-
	女	108	48	44.4	22	20.4	37	34.3	1	1.0	0	-	0	-
	計	441	141	32.0	94	21.3	198	44.9	8	1.8	0	-	0	-
50～59歳	男	229	46	20.1	57	24.9	109	47.6	14	6.1	2	0.9	1	0.4
	女	32	16	50.0	4	12.5	9	28.1	2	6.3	1	3.1	0	-
	計	261	62	23.8	61	23.4	118	45.2	16	6.1	3	1.1	1	0.4
60歳～	男	17	2	11.8	8	47.1	6	35.3	1	5.9	0	-	0	-
	女	5	3	60.0	1	20.0	1	20.0	0	-	0	-	0	-
	計	22	5	22.7	9	40.9	7	31.8	1	4.5	0	-	0	-

CPI：Community Periodontal Index

表3 口腔診査結果—歯の状態について

区 分	受診者	要治療歯のある人		1本		2本		3本		4本		5本以上		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	6 359	2 116	33.3	1 013	15.9	465	7.3	271	4.3	130	2.0	237	3.7
	女	1 738	439	25.3	238	13.7	96	5.5	50	2.9	23	1.3	32	1.8
	計	8 097	2 555	31.6	1 251	15.5	561	6.9	321	4.0	153	1.9	269	3.3

表4 総合評価

区 分	受診者数	A：異常なし		B：要注意		C：要予防処置		D：要検査		E：要治療		F：治療中		G：その他		判定なし		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	6 359	1 086	17.1	1 065	16.7	1 881	29.6	77	1.2	1 810	28.5	438	6.9	2	0.0	0	-
	女	1 738	443	25.5	399	23.0	398	22.9	12	0.7	354	20.4	131	7.5	1	0.1	0	-
	計	8 097	1 529	18.9	1 464	18.1	2 279	28.1	89	1.1	2 164	26.7	569	7.0	3	0.0	0	-

表5 歯みがきの状態

区分	受診者数	1：良好		2：ほぼ良い		3：やや不良		4：不良		記入無し		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	6 359	940	14.8	4 069	64.0	1 244	19.6	106	1.7	0	-
	女	1 738	536	30.8	1 029	59.2	170	9.8	3	0.2	0	-
	計	8 097	1 476	18.2	5 098	63.0	1 414	17.5	109	1.3	0	-

表6 咀嚼力検査

区分	受診者数	0		1		2		3		4		5		未検査		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	6 359	0	-	2	0.0	97	1.5	824	13.0	2 874	45.2	2 451	38.5	111	1.7
	女	1 738	0	-	3	0.2	58	3.3	410	23.6	840	48.3	369	21.2	58	3.3
	計	8 097	0	-	5	0.1	155	1.9	1 234	15.2	3 714	45.9	2 820	34.8	169	2.1

※) 1分間噛んだガムの色を数字で表しています  
よく噛める人ほど数字が大きくなります

歯周病の知識

歯周病（もしくは歯周疾患）は専門学会にて分類されています。大別すると「歯肉」に限局した病気なのか「歯槽骨」や「歯根膜」に達する（より重度の）病気なのか、ということです。

表 歯周病の分類（抜粋）

- 1. 歯肉病変
  - 1) プラーク性歯肉炎
  - 2) 非プラーク性歯肉炎
  - 3) 歯肉増殖
- 2. 歯周炎
  - 1) 慢性歯周炎
  - 2) 侵襲性歯周炎

歯肉炎は比較的軽症で、治療と日常のケア（ブラッシング）で治療することが可能です。歯周病は

骨など歯周組織にまで波及した状態なので、完全に元には戻らず、継続した医学的管理（定期的な歯科受診および専門的なセルフケア）が必要になります。

歯周炎は自然治癒がないのです。歯周炎が見つかったら、それは早期に受診行動をとり、生涯に渡り咬むことができるように（歯を失わないように）管理する必要があります。これは慢性の、いわば生活習慣病なのです。

下に代表的なお口の状態を示します。写真は高血圧治療に用いられるカルシウム拮抗薬の副作用で発症することがある「歯肉増殖症」です。歯茎が増殖して、食事の際に食べ物が当たって痛くて噛めない、という状態です。お口の健康と全身との関連を知ることで健康管理意識を高めて欲しいと思います。



薬物性歯肉増殖症の例

野村典生、菅 武雄、山本 健、新井 高、森戸光彦：  
「糖尿病を伴う高血圧症・不整脈患者に発症したニフェジピン性歯肉増殖症の治療経過—術後2年経過の1症例—」  
老年歯学、15(1)：58-63、2000.